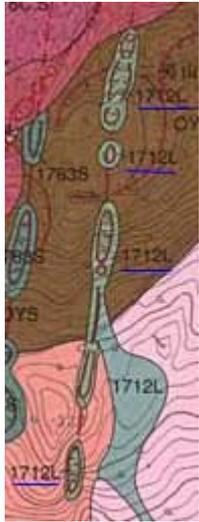
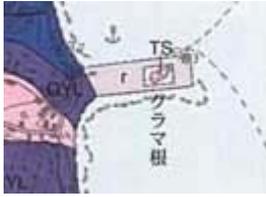
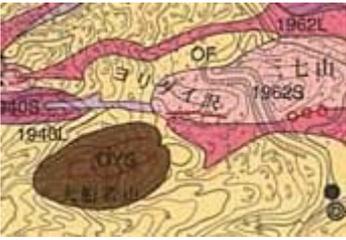
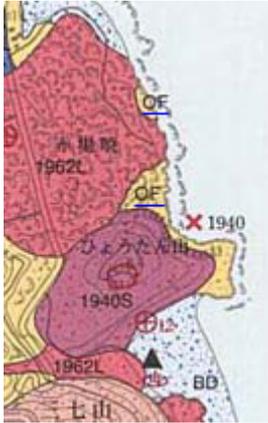


No.12 三宅島火山地質図 正誤表

(2007.11 現在)

		誤	正
地質図	姉ヶ潟溶岩流の試料採取位置 (no.4)	 <p>採取地点が溶岩流分布範囲から外れている。</p>	港に流下した溶岩の東より(棧橋の付け根付近)
地質図	1712年スコリア丘 (1712S)	 <p>1712S とすべきスコリア丘が 1712L となっている。</p>	左図で青線を引いた 1712L は 1712S
地質図	三池港クラマ根		クラマ根の溶岩は安山岩ではなく玄武岩なので雄山期未区分噴出物 (OY) の方が適切。
地質図	誤字 (地名)	 <p>大船若山</p>	大般若山

<p>地質図</p>	<p>誤字 (ルビ)</p>	 <p>こっぱな</p>	<p>こっぱな</p>
<p>地質図</p>	<p>1940 年溶岩流 (1940L)</p>		<p>1962L (赤場暁) 及び 1940S (ひょうたん山) の東側の海岸線の OF (青線を引いたもの) は, 1940L (1940 年溶岩流) が正しい</p>
<p>凡例</p>		<p>霽が平溶岩</p>	<p>霽が平溶岩流</p>
<p>凡例</p>		<p>大船戸期スコリア丘・火砕丘</p>	<p>霽が平スコリア丘</p>
<p>p. 7</p>	<p>参考文献 気象庁 (1984)</p>	<p>験震時, no. 49</p>	<p>験震時報, vol. 49</p>
	<p>Abstract 下から 22 行目</p>	<p>activities</p>	<p>activities</p>